

平成15年10月2日

南海電気鉄道株式会社

「なんばパークス」がグランドオープンします

南海電気鉄道株式会社（社長 山中 諄）では、株式会社高島屋と共同で、難波再開発 A - 1 地区（敷地面積：約37,000㎡）で、複合緑化都市「なんばパークス」の建設工事を進めてまいりましたが、10月7日（火）にいよいよグランドオープンいたします。そして、オープン当日のセレモニー内容やオープニングウィークイベントの概要が決定しましたので、これまでの開発の経緯と合わせ、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「なんばパークス」開発の経緯

昭和62年2月、当社、大阪スタジアム興業（株）（平成10年10月に当社と合併）、（株）高島屋、（株）ニッピ、（株）クボタの5社による「難波地区再開発事業研究会」が発足し、難波地区再開発計画（12.7ha）はスタートしました。

当社では、関西国際空港開港前の平成2年3月に「南海サウスタワーホテル大阪」（現・スイスホテル南海大阪）を開業し、なんばの地に世界の人々を迎える体勢を整えました。そして6年9月の開港にあわせ、関西国際空港となんばとを結ぶ空港特急「ラピート」の運行を開始するなど、「なんば」の魅力向上・活性化に努めてきました。

そして11年11月には、大阪球場跡地を中心とする「なんばパークス」の建設工事に着手し、「未来都市なにわ新都」をコンセプトとして個性的な街づくりを進めてきました。

その後、14年9月に「ウインズ難波」が先行開業、15年9月からはオフィスビル「パークスタワー」にテナントが入居を開始するなど、順次「街」としての姿を表しつつありますが、10月7日に「なんばパークス」がグランドオープンすることで、これまで以上の魅力を「なんば」の街にもたらしめます。

< 「なんばパークス」オープンに至るまでのあゆみは別紙のとおりです >

2. 「なんばパークス」街の魅力

（1）21世紀にふさわしい、人と都市と自然が共生する街

商業施設の屋上部分には、235種類、約4万株の樹木や草花で包まれた屋上公園「パークスガーデン」が段丘状に広がっています。これは「なんばパークス」のシンボルとなる施設であり、民間都市開発としては日本最大級となる約1万㎡（第1期開業時約8千㎡）の屋上公園です。

「パークスガーデン」は、緑の少ないなんばに「緑・水・光」のうるおいをもたらす都心のオアシスとなり、訪れる人々に「憩い」と「癒し」をもたらす空間を提供します。

(2) ミナミ・難波らしさを受け継ぎ、賑わい豊かな街

「なんばパークス」は、商業、ビジネス、アミューズメントなど様々な都市機能が複合した街であり、明治時代から賑わってきた「なんば」の進取の気性、バイタリティを発展的に受け継ぎ、人々が集まり、語り合い、楽しんでいただくことができる街を目指しています。

なんばで初めての本格的オフィスビル「パークスタワー」（高さ150m、地上30階建）は、最先端のオフィス環境を備えるとともに、眼下に緑あふれる「パークスガーデン」が広がっており、オフィスで働く人々に豊かなアメニティを提供します。

また、洗練された大人の感性に応える様々な店舗や都心型アミューズメント施設「ウインズ難波」など、多彩な機能と多様な表情を持つ商業施設も大きな魅力です。

さらに(株)高島屋と共同で「もっと魅力ある、もっと愛されるなんばに」を合い言葉に「Loving NAMBA」プロジェクトを進めており、「なんばパークス」誕生を契機に、なんばで営業する各商業施設が力を合わせてなんばの地を盛り上げていきます。

3. 「なんばパークス」オープニング式典について

- (1) 日 時 10月7日(火) 10時30分～11時
- (2) 場 所 なんばパークス キャニオンストリート 特設会場（2階屋外）
- (3) 内 容 福笹奉納、取締役社長 山中 諄 挨拶、
なんばパークスイメージソング「Loving Life」披露、
【作曲・演奏 葉加瀬太郎氏（なんばパークスイメージソング・プロデューサー）】
パークス誕生宣言 など
荒天時は予定を変更する場合があります。ご了承ください。

4. オープニングウイークイベントについて

(1) スペシャルライブ

イメージング・プロデューサー葉加瀬太郎氏ご推薦の実力派アーティストによるアコースティックライブを8階円形劇場にて行います。

10月7日(火) 功刀丈弘(くぬぎたけひろ)

10月11日(土) アコースティック・パフォーマンス・トリオ

10月12日(日) サブローラ・デル・ソニード

いずれも 午後2時～、午後4時～ の2回公演【計6公演】

(2) ライブイベント

なんばパークスのオープニングを華やかに彩る人気アーティストのプレミアムライブや人気DJによるトークパフォーマンスなどが行われます。

10月7日(火) 午後7時～ I N S P i (インスピ)

【於 1階カーニバルモール特設会場】

10月11日(土) 午後3時～ B@by Soul

【於 2階キャニオンコート】

10月12日(日) 午後3時～ 倭製ジェロニモ&ラブゲリラエクスペリエンス

【於 2階キャニオンコート】

10月13日(祝) 午後3時～ F r i e d P r i d e (フライド・プライド)

【於 8階円形劇場】

10月13日(祝) 午後4時～ M I N M I

【於 2階キャニオンコート】

(3) ワールド・パフォーマー・フェスティバル

10月7日(火)～12日(日)の間、なんばパークス各広場において、世界中から集まったコメディジャグラーや中国雑伎、バルーンパフォーマーなどのパフォーマーが多彩なステージを繰り広げます。このイベントもイメージング・プロデューサー葉加瀬太郎氏が監修しています。【計51ステージ予定】

「なんばパークス」オープンに至るまでのあゆみ

- | | |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------|
| 昭和62(1987)年 2月 | 南海電気鉄道(株)、大阪スタヂアム興業(株)、(株)高島屋、(株)ニッピ、(株)クボタの5社により「難波地区再開発事業研究会」発足 |
| 平成元(1989)年 7月 | 「難波地区開発協議会」発足 |
| 平成 4 (1992)年 4月 | 「難波地区土地区画整理組合設立準備会」設立 |
| 平成 7 (1995)年11月 | 「大阪市難波地区土地区画整理組合」設立認可 |
| 平成 8 (1996)年 8月 | 難波地区再開発地区計画の都市計画決定 |
| 平成10(1998)年10月 | 南海電気鉄道(株)と大阪スタヂアム興業(株)が合併 |
| 平成10(1998)年11月 | 大阪球場の解体工事に着手 |
| 平成11(1999)年11月 | 難波再開発 A - 1 地区「なんばパークス」建設工事着工 |
| 平成14(2002)年 9月 | ウインズ難波が先行開業 |
| 平成15(2003)年 9月 | オフィスビル「パークスタワー」入居開始 |
| 平成15(2003)年10月 | 「なんばパークス」グランドオープン |

